

新たに盛込まれる祭り事業はどの組織で検討するのか伺います。

【答弁】 補助を含めて商工審議会で検討していきます。イベントの主旨として、今年度は世界遺産登録の盛り上げと地域活性化等歴史的な意味も含め説明していきます。



10／4に行われた「清衡公遷都行列」

【質問】 野菜花卉価格安定対策事業について伺います。

【答弁】 胆沢区単独事業であったが、事業は廃止せず同じ品目で変更はありません。

【質問】 農用地の集積率・標準小作料について伺います。

【答弁】 市全体の集積率は21%で、小作料は基本的には双方合意のもとで契約・変更もあり、相談を受ければ指導をして行きます。

【質問】 農業者年金の見通しについて伺います。

【答弁】 奥州市は岩手県でも多いほうですが、加入要件を満たす人が少ないのが現状です。

【質問】 農地荒廃、認定農業者について伺います。

【答弁】 国は5年後に遊休農地を解消したい考えで、委員会としても調査しています。認定農業者に関してはメリットがないと進まないこともあり、補助執行の事業として今後も続け認定者拡大につなげたい考えです。

建設環境部門

【質問】 市内5地区の消防団統合に向けた進捗状況を伺います。

【答弁】 来々4月1日統合の合併協定は、尊重しなくてはなりません。一方で、融和と団結の維持は消防団活動の中心におかなくてはなりません。お互いに話し合いをし、納得のいくような形にしたいと考えます。

※市当局「合併協定の通り進めたい」との考えを示したが、水沢区選出議員からは、「慎重に進めるべき」と主張され「協定に従うべきだ」という議員もあり、議会内でも意見が分かれました。

【質問】 団員の確保と消防団、婦人消防協力会の補助金について伺います。

ます。

【答弁】 団員定数2350人に対して、消防団員2069人、機能別団員45人、市全体合計2114人、充足率88%です。今後も大きな課題です。自主防災組織については、組織の拡大を図って参ります。今回の震災等の教訓をふまえて情報の把握、情報伝達など充実を図る計画を検討します。補助金は、配慮しなければならぬ大事なことです。十分検討します。



訓練に励む消防団

【質問】 道路標識等の修繕を要請したいが伺います。

【答弁】 標識が色あせて見えないものや、旧市町村役場名のままだというものがあります。計画をたてて直したいが、起債対象ではないので、市の自主財源から捻出するこ

ととなります。交通規制標識については、県公安委員会に改善箇所の情報を提供します。

【質問】 江刺クリーンパークの付随する施設の利用状況と、ゴミ処理場について埋め立て完成後の活用の仕方について伺います。

【答弁】 利用状況は、平成18年は4万8180人、平成19年は4万8052人です。埋め立て地の利用については、県から提示はありませんが、地盤にかかわらないグラウンドゴルフ場や高齢者、子どものスポーツ施設等も検討します。

【質問】 住宅リフォームの効果について伺います。

【答弁】 平成19年は83件で、商品券は年間750万円。水沢区は430万円の交付で事業費は1億1300万円となります。費用に対して26倍の効果でした。行政のPR不足等もありますので発足時をふまえて検討します。

【質問】 水沢区内久田前田中線の整備の意義と今後の見通しについて伺います。

【答弁】 幹線道路の整備で38億円を投じること、生活道路の整備を優先すべきなど課題はあります。合併前の水沢の主要事項で夢のある飛躍のある事業として新市に引き継がれた事業です。